

2023 年 6 月 20 日

National Center for Global Health and Medicine

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

国際医療協力局

国立国際医療研究センター

こまだけんいち

国際医療協力局 駒田 謙一 医師が**世界銀行が主催し、WHO がテクニカルリードを務める****パンデミックファンド（The Pandemic Fund）の****技術諮問パネル（Technical Advisory Panel）に任命されました**

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）国際医療協力局の駒田謙一医師が、世界銀行が主催し、WHO がテクニカルリードを務める『パンデミックファンド（The Pandemic Fund）』の技術諮問パネル（Technical Advisory Panel）に任命されました。諮問パネルは 21 名の専門家で構成され、駒田医師は、日本から唯一任命されました。

新型コロナウイルス感染症は、パンデミックに対する備えおよび対応（PPR: Pandemic Prevention, Preparedness and Response）への投資が不十分であることを露呈させました。

パンデミックファンドは、将来の感染症による保健医療への世界的脅威のリスクを軽減できるよう、資金メカニズムの構築と強化を図ることを目的に、2022 年 11 月、G20 財務・保健大臣合同会合において設立された資金拠出国、共同投資者（資金を受け取る資格のある国）、財団、市民社会組織（CSO）等の共同パートナーシップです。

パンデミックファンドの創設時の資金拠出者は、日本、米国、中国、EU（欧州委員会）、ビル&メリンダ・ゲイツ財団、ロックフェラー財団、ウェルカム・トラストなどで、既に 24 の資金拠出者が 14 億ドルのシード基金拠出を表明しています（2022 年 11 月現在）。

本年 5 月 1 日より、諮問パネルによる活動が正式に開始され、第 1 回の資金応募が 5 月 19 日に締め切られました。現在、本格的な審査を実施中です。



駒田謙一医師

★駒田謙一医師プロフィール

2002 年 群馬大学医学部 卒業

2002 年 聖路加国際病院 前期研修医

2004 年 聖路加国際病院 救急部 後期研修医

2009 年 東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 MPH 取得

2009 年 国立国際医療研究センター 国際医療協力局 入局

2012 年 5 月～2015 年 11 月 （長期派遣）JICA ザンビア HIV エイズケア管理展開プロジェクト
チーフアドバイザー

2016 年 6 月～2017 年 6 月 （出向）厚生労働省 大臣官房国際課 課長補佐

■受賞 2017 年 奨励賞 日本国際保健医療学会

【国際機関で委員等「規範セッター」を務めている国際医療協力局局員】

国際医療協力局には「規範セッター」と言われる「高度な専門性を持ち国際的組織技術諮問委員などに参加し、国際的規範・基準づくりに携わる委員」（厚生労働省 国際保健に関する懇談会 国際保健政策人材養成ワーキンググループ報告書より）が多く在籍しています。

「国際規範をつくる場」に日本人をおくり、国際的影響力を強めていくことは、保健医療外交上もきわめて重要なことです。

2023 年 2 月現在

局員	委員名 等	就任時期 任期
永井真理 医師	WHO 本部:避妊具の使用に関する医学的な適格基準および具体的な実践に関する推奨の策定委員会	2022 年 11 月 定めなし
野崎成功真 医師	グローバルファンド※:技術評価委員会技術評価委員(HIV)	2020 年 8 月～ 4 年
宮野真輔 専門職/医師	WHO 西太平洋地域事務局:HIV 梅毒母子感染排除に関するアジア太平洋 地域専門家パネル委員	2018 年 5 月～ 定めなし
	グローバルファンド※:技術審査委員会技術審査委員(結核) 結核専門家チームリード	2020 年 4 月～4 年 2021 年 4 月～3 年
馬場俊明 医師	WHO 本部:ガイドライン評価委員会 外部委員	2018 年1月～ 3 年 X2 回
小原ひろみ 専門職/医師	WHO 西太平洋地域事務局:新生児プログラム 独立レビューグループ委員	2015 年 11 月～ 定めなし
	WHO 本部:「妊娠出産と周産期の優先 WHO 推奨改訂」に関する ガイドライン策定委員	2018 年 5 月～ 複数推奨策定完了まで
	WHO 本部:母と新生児情報の成果と結果トラッキング技術諮問 委員会委員	2020 年 12 月～ 2023 年 2 月
駒田謙一 医師	パンデミックファンド:技術諮問パネル(Technical Advisory Panel)	2023 年 5 月 1 日より 活動開始

※グローバルファンド（グローバルファンド日本委員会ホームページ <http://fgfj.jcie.or.jp/global-fund> より）

和文組織名：世界エイズ・結核・マラリア対策基金 略称:グローバルファンド

低中所得国の三大疾病対策のために資金を提供する機関として、2002 年 1 月にスイスで設立。

国際社会から大規模な資金を調達し、低中所得国が自ら行う三疾病の予防、治療、感染者支援、保健システム強化に資金を提供。

支援の対象は、100 以上の国・地域にのぼる。年間拠出額は約 30 億～40 億ドル。

【NCGM 国際医療協力局について】

NCGM 国立国際医療研究センター国際医療協力局は、グローバルヘルス分野における専門機関として、厚生労働省、外務省、国際協力機構（JICA）等の政府・関係機関や、世界保健機関（WHO）をはじめとする国際機関、大学・研究機関・学会等のアカデミア、さらには NGO や企業等の幅広いパートナーと連携し、低中所得国における技術協力プロジェクトへの専門家派遣、国内外の保健医療人材の育成のための講座や研修の提供、国際保健医療の研究、国際会議等を通じた政策提言など、低中所得国の医療や保健衛生の向上を図るためさまざまな活動を行っています。

★本件に関するお問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター（NCGM）

国際医療協力局 広報情報課

昆 弘人
こん ひろと

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1

TEL : 03-3202-7181（代表）内線：2744、PHS：5525

E-mail : koho@it.ncgm.go.jp

<https://kyokuhp.ncgm.go.jp/index.html>